

郷 俣

～須木中校歌より～

須木中学校通信 第28号

平成28年2月1日発行 文責 寺原

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

私は若かりしころ、十のことを試しても
九つがうまくいかないことが多かった。

そこで十倍努力した。

バーナード・シヨ

あつという間に二月になりました。今年は「閏年」(オリンピック・パラリンピックのある年が閏年です)で、二月が一日長いものの、今年度もあと二ヶ月になりました。

三年生は、すでに私立高校等の入試も終わり、県立高校の入試に向けて最後の追い込みに入っています。

冬至(十二月)の頃が日照時間が一番短く、夏至(六月)の頃が一番長いのですが、実際は二月頃が一番寒く、八月頃が一番暑いですね。これは地球が大きく、冷やされたり暖められたりしても、温度が変わるのに時間がかかるからです。

私たちも同じかも知れませんが、一生懸命努力をしても、なかなか成果として表れないことがつて沢山ありますよね。

そんな時、人の生き方として三つあるように思います。

「ここであきらめて努力をやめる人」、「今の努力を粘り強く続ける人」、そして、「成果が出ない部分に、なおいつそこの努力を傾ける人」です。最初の人は、当然の結果として、自分の目標を達成することはできませんね。

二番目の人は、もし時間がかかっても、必ず目標に到達するはずですよ。

三番目の人は、時期を待つのではなく、より積極的に自分から打って出ること、自分の描いた目標以上に到達することが出来る人だと思います。

人生には、「**今が踏ん張りどころだ**」という時期が必ずあります。

進学や進級を目の前にした皆さんが、自分の立てた目標に、アクティブに取り組むことを期待します。

《未来予想図～こんな職業の世界になるという予測もあります》

ドリカムではありませんが、これから10～20年後の職業について、こんな未来を予想している学者がいます。皆さんが35歳ぐらいになった未来、職業人として働いている時の世界です。

子どもの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビットソン (NY市立大学院教授)

今後10～20年で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

マイケル・A・オズボーン (オックスフォード大准教授)

予想どおりに行けば、皆さんがこれから働く環境は、「今は存在しない新しい職業に就き、コンピュータ制御で自動化された職場で、ロボットと一緒に働く」などということも考えられるということですね。働く時間がぐっと減るという予想もあるそうです。

しかし、変化は一足飛びに起こるものではないことも事実です。ですから、皆さんはそもそも現在はどんな職業があり (現在の職業分類表では892種類に分類されています)、働いている人たちは、その職業の中でどんな仕事をしているのかをしっかりと知ることが大切です。

2月から月1回、須木の社会福祉協議会というところのお取りはからいで、「**ドリーム・ジャンボ学園**」という、職業や仕事を知る機会を設けました。来年度も続けて行います。14種類ぐらいの職種や仕事の内容を知ることになります。是非自分の進路選択の材料にしてほしいと思います。

なお、第1回目の2月24日に1・2年生参加で開校式を行う予定です。取材も来るそうです。

《ライオンズクラブより竹ボーキの寄贈》

12月22日に、ライオンズクラブの方より21本の竹ボーキの寄贈がありました。贈呈式を準備していたのですが、あいにく相手様のご都合で、校長先生が目録を受け取るだけになりましたが、「使っていただくと幸いです」という言葉とともに、ありがたくいただきました。

すでに毎日の清掃や、毎日の朝の清掃ボランティアで十分活用しています。寄贈された方々の想いを考えながら大切に使いましょう。

